

Q

市第5次総合計画の目指すもの

A

長期的な市政運営の指針

田口 幸央 議員

質問一 計画実現のため、分野別予算配分の大枠を決める考えはあるか。

- 二 なぜ、この時期に農業大学校の移転と跡地への企業誘致なのか。
- 三 農業大学校移転を県に働きかけた一方の当事者として、次のことについて基本的な考えは。
- ア 水辺環境・遊水池の保全、周辺の緑地の保全との連続性を確保

した生物多様性の確保。
イ 老・壮・青・幼のすべての年齢層が集える交流の場の確保。

答弁一（市長） 総合計画のすべての施策について財政的裏付けをすることは困難であると考えます。
二 県では、平成20年度に本市が行った農業大学校を含めた圏央鶴ヶ島IC周辺の一体整備についての要望をきっかけの一つとし、施



設の老朽化や機能性などを考慮し、今回農業大学校を移転させる方針を固めたものと考えます。

三 ア 市民の皆さんと一緒に、県とも協議しながら、人と自然が共生することを基本に進めていきたいと考えている。

イ 自然景観を生かし、地域内外の人が世代を超えて集えるパブリックスペースの創出を考えている。
◎その他の質問 市民の防災、安心・安全を守る体制について

Q

市の危機管理について

A

平常時から常に対策を講じる

五伝木隆幸 議員

- 質問一** 全庁的なリスク洗い出し等は行われているか。
- 二 現在想定されている本市のリスクにはどのような事態があるか。
 - 三 いわゆる不祥事に対する危機管理をどのように考えているか。
 - 四 危機管理に対応できる人材の育成についての対応は。
 - 五 全庁的な危機管理基本マニュアルあるいは個別マニュアル等の策定の考えは。
- 答弁一（市長）** 全庁的なリスクの洗い出しは実施していない。
- 二 現在想定される市のリスクには自然災害のほか、市民の生命・身体・財産に重大な影響を及ぼす事件あるいは事故、行政運営・行

- 政サービスに重大な支障を及ぼす事態等の発生が考えられる。
- 三 対応の記録は、通常の行政文書の管理と同様に所管課において保存している。一般的な方針決定プロセスは、まず市長等へ報告し指示を受け、関係部課と調整を行った上で事務の適正等の回復を図り、職員への処分等の検討を行う。
- 四 鶴ヶ島市人材育成基本方針では、危機管理能力を市職員として求められる共通能力の一つに位置付けており、研修も実施している。
- 五 段階的にリスクに対するマネジメントマニュアルを整備していく。



長久保小学校で行われた防災訓練